

### Ⅲ 業務の概要

#### 1 輸入指定糖に関する業務

##### (1) 概要

平成 18 事業年度における輸入指定糖に関する業務は、糖価調整法に基づく価格調整業務が行われた。

平均輸入価格が全適用期間を通じて国内産糖合理化目標価格を下回っていたので、糖価調整法第 5 条に基づく義務売買が行われた。(第 1 表)

##### ア 売買数量

平成 18 事業年度における機構売買契約数量のうち、条件付きでない粗糖の売買契約数量は 1,346,760 トン (1,080 件) で、前事業年度に比べ 26,718 トン (2%) 増加した。

また、条件付きでないもので粗糖以外の売買契約数量は 4,443 トン (603 件) であった。

条件付きのものについては、粗糖の売買契約数量 9,622 トン (198 件)、粗糖以外の売買契約数量 1,620 トン (8 件) であった。

##### イ 売買差額

平成 18 事業年度に売買契約した輸入糖の売買差額は、粗糖 44,049,384 千円、粗糖以外のもの 156,624 千円、合計 44,206,007 千円となっており、平成 17 事業年度に比べ 6,179,570 千円 (12%) 減少した。

## (2) 売買契約実績

## ア 粗糖

(単位：kg・円)

年月	総 数		うち条件付きのもの		うち条件付きでないもの			備 考
	件 数	数 量	件 数	数 量	件 数	数 量	売買差額 (調整金)	
18年 4月	121	125,741,433	23	1,077,881	98	124,663,552	3,736,665,303	
5月	101	105,596,901	16	826,567	85	104,770,334	3,143,829,262	
6月	128	128,536,676	18	882,462	110	127,654,214	4,335,339,046	
7月	118	133,214,101	18	1,016,937	100	132,197,164	4,033,335,476	
8月	96	102,072,955	18	960,560	78	101,112,395	3,084,939,171	
9月	128	153,162,077	10	566,236	118	152,595,841	5,168,410,702	
10月	97	89,351,585	21	1,155,722	76	88,195,863	2,880,212,293	
11月	107	137,726,201	14	662,115	93	137,064,086	4,476,101,853	
12月	132	167,913,320	16	758,369	116	167,154,951	5,701,570,919	
19年 1月	77	62,607,960	18	697,462	59	61,910,498	2,162,967,067	
2月	79	75,934,988	14	527,345	65	75,407,643	2,645,495,966	
3月	94	74,523,372	12	490,313	82	74,033,059	2,680,516,620	
合 計	1,278	1,356,381,569	198	9,621,969	1,080	1,346,759,600	44,049,383,678	

イ 粗糖以外

(単位：kg・円)

区分 年月	総 数		うち条件付きのもの		うち条件付きでないもの			備 考
	件 数	数 量	件 数	数 量	件 数	数 量	売買差額 (調整金)	
18年 4月	56	368,360	0	0	56	368,360	12,981,016	
5月	49	281,984	0	0	49	281,984	9,073,067	
6月	56	822,421	2	431,757	54	390,664	14,334,835	
7月	47	592,460	1	215,784	46	376,676	13,375,743	
8月	64	721,153	1	215,991	63	505,162	17,147,830	
9月	41	563,729	1	216,117	40	347,612	12,735,834	
10月	52	490,483	0	0	52	490,483	15,484,574	
11月	41	386,499	0	0	41	386,499	14,043,002	
12月	51	350,638	0	0	51	350,638	12,543,035	
19年 1月	55	570,677	1	216,324	54	354,353	13,506,191	
2月	54	616,385	2	324,469	52	291,916	10,572,725	
3月	45	299,096	0	0	45	299,096	10,825,786	
合 計	611	6,063,885	8	1,620,442	603	4,443,443	156,623,638	

## 2 異性化糖に関する業務

### (1) 概要

平成 18 事業年度における異性化糖平均供給価格は全適用期間を通じて異性化糖調整基準価格を下回り、かつ異性化糖標準価格をも下回って推移したため、国内産異性化糖、輸出用異性化糖及び輸入異性化糖等については、全適用期間を通じて機構売買の対象となった。

#### ア 国内産異性化糖

18 事業年度における国内産異性化糖の売買契約数量は、792,752 トン（標準異性化糖換算数量）となり、売買差額として 5,428,482 千円の調整金を徴収した。これは前年度と比較すると、売買契約数量で 7,802 トン（1.0%）の減少、調整金で 866,980 千円（13.8%）の減少となった。

また、規格別にみると果糖含有率 40%未満のもの 4,139 トン、40%以上 50%未満のもの 163,186 トン、50%以上 60%未満のもの 558,256 トン及び 60%以上のもので 67,171 トンとなっており、50%以上 60%未満のものが全体の約 68.1%を占めている。

#### イ 輸出用異性化糖

18 事業年度における輸出用異性化糖の売買契約は 524 トン（標準異性化糖換算数量）、契約解除数量（輸出されたもの）352 トン（次年度繰越分 80 トンを含む）、契約未解除数量は 48 トンとなった。なお、全量が果糖含有率 60%以上のものであった。

#### ウ 輸入異性化糖及び混合異性化糖

18 事業年度における輸入異性化糖の売買契約数量は 12.372 トン（標準異性化糖換算数量）となり、売買差額として 147,599 円の調整金を徴収した。

また、混合異性化糖の売買は行われなかった。

## (2) 売買契約実績

## ア 国内産異性化糖

(単位：k g・円)

規格 年月	果糖含有率 40%未満	果糖含有率 40%以上50%未満	果糖含有率 50%以上60%未満	果糖含有率 60%以上	合 計	標準異性化糖 換算数量	売買差額
18.4	645,572	20,533,406	55,955,311	4,863,270	81,997,559	80,009,723	681,122,727
5	540,250	19,903,382	52,956,445	3,740,127	77,140,204	74,625,075	635,283,475
6	( 7,151 ) 517,492	( 2,558,843 ) 21,190,971	( 8,373,426 ) 54,677,503	( 803,460 ) 4,762,694	( 11,742,880 ) 81,148,660	( 11,647,389 ) 78,988,309	( 105,677,010 ) 678,950,207
7	565,964	21,368,912	59,920,626	5,629,644	87,485,146	85,816,528	728,510,722
8	564,698	18,774,680	51,715,322	4,944,128	75,998,828	74,506,916	632,501,739
9	( 56,278 ) 508,341	( 2,307,440 ) 16,208,440	( 9,565,471 ) 44,170,100	( 690,119 ) 3,264,181	( 12,619,308 ) 64,151,062	( 12,493,182 ) 62,216,838	( 113,052,676 ) 535,165,096
10	559,268	16,108,420	38,990,575	1,756,344	57,414,607	54,526,494	462,270,639
11	477,067	15,745,047	40,848,462	2,210,198	59,280,774	56,796,972	481,519,512
12	( 319 ) 571,751	( 2,703,266 ) 15,790,450	( 10,508,414 ) 37,227,841	( 611,295 ) 2,333,165	( 13,823,294 ) 55,923,207	( 13,573,990 ) 53,472,438	( 122,476,185 ) 460,730,946
19.1	483,234	13,918,738	34,023,272	2,299,017	50,724,261	48,725,728	35,821,306
2	483,658	15,255,204	36,698,674	2,153,162	54,590,698	52,183,825	38,363,553
3	( 37,473 ) 590,526	( 2,188,691 ) 18,797,231	( 8,241,368 ) 51,072,113	( 803,886 ) 3,101,618	( 11,271,418 ) 73,561,488	( 11,252,514 ) 70,883,015	( 14,404,171 ) 58,241,777
合 計	( 101,221 ) 6,507,821	( 9,758,240 ) 213,594,881	( 36,688,679 ) 558,256,244	( 2,908,760 ) 41,057,548	( 49,456,900 ) 819,416,494	( 48,967,075 ) 792,751,861	( 355,610,042 ) 5,428,481,699

イ 輸出用異性化糖

(単位：k g, 円)

区分 年月	売 買 契 約			契 約 解 除			輸 出 取 止			残 高		
	数 量	標準異性化 糖換算数量	売買差額	数 量	標準異性化 糖換算数量	売買差額	数 量	標準異性化 糖換算数量	売買差額	数 量	標準異性化 糖換算数量	売買差額
前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,000	130,880	1,134,080
18.4	80,000	130,880	1,114,160	80,000	130,880	1,134,080	0	0	0	80,000	130,880	1,114,160
5	0	0	0	48,000	78,528	668,496	0	0	0	32,000	52,352	445,664
6	0	0	0	32,000	52,352	445,664	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	32,000	52,352	444,448	0	0	0	0	0	0	32,000	52,352	444,448
9	48,000	78,528	666,672	0	0	0	0	0	0	80,000	130,880	1,111,120
10	0	0	0	80,000	130,880	1,111,120	0	0	0	0	0	0
11	48,000	78,528	665,712	0	0	0	0	0	0	48,000	78,528	665,712
12	32,000	52,352	443,808	0	0	0	0	0	0	80,000	130,880	1,109,520
19.1	0	0	0	80,000	130,880	1,109,520	0	0	0	0	0	0
2	32,000	52,352	38,496	0	0	0	0	0	0	32,000	52,352	38,496
3	48,000	78,528	57,744	32,000	52,352	38,496	0	0	0	48,000	78,528	57,744
合 計	320,000	523,520	3,431,040	352,000	575,872	4,507,376	0	0	0	48,000	78,528	57,744

(注) 売買契約等は果糖含有率60%以上の異性化糖である。

### 3 国内産糖に関する業務

#### (1) 概要

平成 18 事業年度におけるてん菜糖及び甘しゅ糖の国内産糖交付金交付業務については、平成 18 年 4 月から 9 月までは 17 年産糖、18 年 10 月から 19 年 3 月までは 18 年産糖に対して行った。

国内産糖交付金交付申請に係る蔵置場所については、国内産糖交付金交付要領第 5 及び国内産糖倉庫指定要領を一部改正して 15～17 砂糖年度の指定期間を 1 年延長して、平成 18 砂糖年度末までとした。(第 4 表)

#### (2) 価格の動向

平成 18 事業年度における価格の動向は、概ね次のとおりである。

平均輸入価格の第 1・四半期は、トン当たり 5 万 3 千円台と最も高く、その後下降傾向で推移し、第 2・四半期は、5 万 2 千円台、第 3・四半期は 4 万 5 千円台、第 4・四半期には 3 万 9 千円台まで下降した。

一方、平均市価も上白、ビートグラともに年度当初から 11 月までは、トン当たり 15 万 6 千円台であったが、12 月から 3 月までは 15 万 4 千円台で推移した。

#### (3) 平成 18 事業年度における国内産糖交付金交付業務

##### ア てん菜糖

17 年産のてん菜糖生産量は 708,488 トン(うち、てん菜原料糖は 256,389 トン)で、このうち 505,958 トン(うち、てん菜原料糖は 166,879 トン)は、既に 18 年 3 月までに交付金交付決定されており、18 年 4 月から 9 月までの交付金交付決定数量は 168,551 トン(うち、てん菜原料糖は 55,622 トン)であった。

18 年産のてん菜糖生産量は 635,702 トン(うち、てん菜原料糖は 205,796 トン)で、このうち 19 年 3 月までの交付金交付決定数量は 485,300 トン(うち、てん菜原料糖は 146,700 トン)であった。

この交付金交付によって 18 事業年度に製造事業者を支払われた交付金額は、43,414,451 千円(うち、てん菜原料糖は 13,725,089 千円)であった。(第 5 表)

##### イ 甘しゅ糖

17 年産の甘しゅ糖生産量は、鹿児島県産 62,053 トン、沖縄県産 75,923 トンで、このうち鹿児島県産 49,858 トン、沖縄県産 73,143 トンは既に 18 年 3 月までに交付金交付決定されており、18 年 4 月から製糖終了までの交付金交付決定数量は、鹿児島県産 12,128 トン、沖縄県産 2,701 トンであった。

18 年産の甘しゅ糖生産量は、鹿児島県産 70,583 トン、沖縄県産 84,898 トンで、このうち 19 年 3 月までの交付金交付数量は、鹿児島県産 55,651 トン、沖縄県産 79,878 トンであった。

この交付金交付によって製造事業者を支払われた交付金額は、鹿児島県産 12,768,425 千円、沖縄県産 15,403,448 千円であった。(第 5 表)

#### (4) 国内産原料糖入札取引業務

国内産原料糖の入札取引に係る業務規程及び業務細則に基づき、18 砂糖年度における売り手(7 者)及び買い手(22 者)の登録を行うとともに、国内産原料糖価格形成施設において取引監視委員立会いのもと入札取引を 4 回行った。結果については、全量が落札されており、再入札は行われなかった。(第 6 表)

第3表 国内産糖交付金単価

(単位：円／トン)

砂糖 年度	てん菜糖		甘しや糖			
	白糖	原料糖	沖縄県産			
			本島	島内	離島（南北 大東島除	南北大東島
17	75,464	77,299	192,709	191,459	196,959	200,609
18	62,514	64,251	183,272	182,022	187,522	191,222

(単位：円／トン)

砂糖 年度	甘しや糖					
	鹿児島県産					
	種子島	奄美大島	喜界島	徳之島	沖永良部島	与論島
17	195,991	198,650	196,257	195,459	198,118	198,650
18	186,466	194,097	186,929	184,189	189,939	194,166





第5表 国内産糖交付金交付決定数量

(単位：トン、千円)

項 目		てん菜糖	甘しや糖	
			鹿児島県産	沖縄県産
産 糖 量	17年産	(256,389) 708,488	62,053	75,923
	18年産	(205,796) 635,702	70,583	84,898
交付決定数量	17年産 (18年4~9月)	(55,622) 168,551	12,128	2,701
	18年産 (18年10月~19年3月)	(146,700) 485,300	55,651	79,878
	計	(202,323) 653,851	67,778	82,579
国内産糖交付金交付決定金額		(13,725,089) 43,414,451	12,768,425	15,403,448

(注) てん菜糖の上段( )は、てん菜原料糖に係るもので内数である。

第6表 平成18事業年度における国内産原料糖の入札結果

1 てん菜原料糖

区分 回	単位	上場数量 (売り手数) トン (者)	申込者数 者	申込数量 トン	申込倍率 倍	落札者数 者	落札数量 トン	不落札数量 トン	落札率 %	落札価格		
										最高 円/トン	最低 円/トン	平均 円/トン
17砂糖年度 第3回 18年 4月13日 17年産		13,770.000 (1)	20	38,005.200	2.8	20	13,770.000	0.000	100.0	87,720	87,720	87,720
第4回 18年 7月13日 17年産		13,980.000 (1)	20	38,584.800	2.8	20	13,980.000	0.000	100.0	86,640	86,640	86,640
18砂糖年度 第1回 18年10月12日 18年産		12,480.000 (1)	20	34,444.800	2.8	20	12,480.000	0.000	100.0	82,160	82,160	82,160
第2回 19年 1月11日 18年産		10,770.000 (1)	20	29,725.200	2.8	20	10,770.000	0.000	100.0	78,480	78,480	78,480

(注) 1 不落札数量は、(上場数量-落札数量)である。  
2 落札価格は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 甘しや分みつ糖

区分 回	単位	上場数量 (売り手数) トン (者)	申込者数 者	申込数量 トン	申込倍率 倍	落札者数 者	落札数量 トン	不落札数量 トン	落札率 %	落札価格
										平均 円/トン
18砂糖年度 第1回 18年10月12日		1,200.000 (1)	4	4,800.000	4.0	1	1,200.000	0.000	100.0	90,280
第2回 19年 1月11日		2,600.000 (2)	6	9,000.000	3.5	2	2,600.000	0.000	100.0	92,813

(注) 1 不落札数量は、(上場数量-落札数量)である。  
2 落札価格は、消費税及び地方消費税を含まない。

#### 4 砂糖の補助に関する業務

##### 砂糖生産振興事業

18事業年度に実施した補助事業は、7事業4,926,057千円であり、事業内容は次のとおりである。

##### (1) てん菜生産構造改革特別対策基金

てん菜における直播栽培の普及促進、需要に応じた計画的生産の推進等、地域の実情に応じて、地域自らが作成する計画の下で構造改革を進めるため取組む事業に対し補助することとした。

##### (2) さとうきび増産プロジェクト基金

「さとうきび増産プロジェクト基本方針」に基づき、経営基盤の強化、生産基盤の強化、生産技術対策等を通じ、地域ごとに策定されるさとうきび増産のための計画の達成に向けて取組む事業に対し補助することとした。

##### (3) 農業経営基盤強化特別対策事業

てん菜、さとうきびの生産の実態、地域の実情等を踏まえ、てん菜・さとうきびにおける生産農家の生産性向上、品質向上など農業経営基盤強化に向けて取組む事業に対し補助することとした。

##### (4) 原料糖需給安定化特別対策事業

てん菜原料糖に関し、市場シグナルを生産者に的確に伝える取組み及び生産・流通コストの低減に資する取組みに対して補助することとした。

##### (5) 甘しや糖製造合理化対策事業

さとうきびの糖度別買入価格体系の見直しにおいて、低糖度帯の見直しが3年間据え置かれることに伴う、原料代の負担増加分を甘しや糖製造事業者に対し補助することとした。

##### (6) 甘しや糖合理化促進臨時助成事業

標準的な集荷製造経費を基準として算定される国内産糖交付金によっては実際の集荷製造経費を賄えない甘しや糖製造事業者に対し、合理化の取組状況も勘案しつつ、その差額を補填する事業に対し補助することとした。

##### (7) 砂糖消費拡大推進事業

消費者に対して砂糖に関するパンフレット、シンポジウム等の各種媒体を活用した情報提供、作品コンクール等のイベント開催、菓子業界と連携した需要拡大キャンペーン等を行うなど砂糖に対する誤解を解いて砂糖の効用を広めることを通じて砂糖需要の維持・増大に資する事業に対し補助することとした。